

祝! 新成人

二十歳のキモチ

1月10日、各中学校区にて地域主催の令和3年成人式が開催され、今年は新成人3327人が大人としての第一歩を踏み出しました。式典では多くの方々からお祝いの言葉をもらい、大人としての自覚

を胸に刻む新成人。友人との再会を懐かしみながら記念撮影を楽しむ光景が見られ、会場は和やかな雰囲気になりました。特集では、これからの未来に期待膨らむ新成人の抱負を紹介します。

生涯学習課 ☎917-3509

老舗のチカラ 第2回 対談者、沖縄県立沖縄盲学校の村吉和枝校長です。

Vol.2

城間市長 県立沖縄盲学校は、今年5月に本市と同じ100周年を迎えるとお聞きしました。100周年の今、どのような想いがありますでしょうか。

村吉校長 先人の思いやその歴史を継承し、夢を叶えるため日々学び、成長し続ける生徒たちの背中を後押しするため、「打って出る」をキャッチフレーズに取り組んでいるところです。

城間市長 力強い言葉ですね。子どもは社会の宝、彼らが夢や希望を持って笑顔で暮らせるような社会を創っていかねばいけないと感じています。

村吉校長 本校には弱視や全盲など視覚に障がいや見えにくさのある幼児児童生徒がおり、個々に応じた教育を心掛けています。特に、実際に触れて学ぶ体験学習や主体的な学習活動を大切にしています。卒業生の中には、市内に治療院を開業したり、訪問治療やヘルスキーパーで頑張っている方もいますね。今後も、支えてくれる地域の方々と一緒に、彼らの成長を見守りながら社会参加の機会を拡げていきたいと思っています。

城間市長 教育へのきめ細やかな対応、地域と協力した取り組みはまさに本市の目指す「誰一人取り残さない」という精神に通じるものを感じます。また、社会に出て頑張っている先輩たちの姿を見ることは、生徒達の励みにもなりますね。実際に地域とはどのような交流があるのでしょうか。

村吉校長 南風原町地域のほか、真地団地自治会では専攻科の生徒たちが自治会へ出向き臨床実習(治療)を行ったり、地域の人たちが本校の外来治療室で治療を受けに学校に足を運んでくれたりと様々な面で協力いただいています。

城間市長 本市でも地域との繋がりを大切に「協働によるまちづくり」を掲げています。ぜひ、福祉や教育の面からサポートをお願いします。ともに力を合わせて打って出しましょう!

《次の100年へ、打って出る》

沖縄盲学校は、1921年(大正10年)に宮崎県出身の初代校長・高橋福治先生が那覇市天妃町に沖縄訓盲院として創設したのが始まりで、沖縄県内で唯一の視覚障がい児・者の教育機関です。

村吉 和枝 第24代校長

Catalog Pocket カタポケ iPhone / Android 無料 Free App

「広報なは市民の友」を10言語で読むことができます。

ウェブでもアプリでも

市が実施する事業やイベント、防災情報などの情報を発信しています。右記QRコードからそれぞれご覧いただけます。

Facebook LINE Instagram Twitter マチイロ

【特集】祝! 新成人—二十歳のキモチ— 1~3

保健所から市民のみなさんへお願いです 4

営業時間短縮への協力給付金/第13回なは市民芸術展市長賞決定
マイナンバーカードをお持ちでない人へ交付申請書が送付されます 5

読売巨人軍那覇キャンプ 5

令和3年度市民税・県民税兼国民健康保険税の申告が始まります 6

市制施行100周年記念ナンバープレートができました 6

令和3年度那覇市会計年度任用職員募集 7

情報パック 8~10